



J R 総連の統制委員会に反対!

真実をあきらかに!津崎裁判原告と共に闘う!

第31回地本定期大会開催 6/23

伊藤委員長



本部
淵上委員長



・JR総連の統制委員会設置は虚偽の報告にもとづくもの。本部は指示に回答している。総連も話したいに応ずるといったのに一転して話したいを拒否した。制裁を出させない。

・小林さん渡辺さんが津崎議長を提訴。レッテルを貼られた仲間の気持ちを思うとふざけるなど言いたい。2人と連帯して闘う。

・JS労結成に学び、関連会社での組織拡大の闘いを進めよう。

・OB会小黑さん南波さんに本部見解が出された。組織混乱を招くので傍聴を遠慮してもらった。論議を継続していく。・ウクライナ・パレスチナ戦争反対の声を上げていこう。・分会から班へ組織体制を変更した。組織拡大に全力を。

静岡地本
山本書記長



・本部討議資料が事実・真実だ。総連討議資料は畑野発言に触れてない。討議に値しない。・津崎提訴、JS労支援、共に闘う。

新幹線関西地本
渡辺副委員長



・津崎は議論をせずうそをつき逃げている。核心はウソを許せるのか。組織破壊者と言われて黙ってられるか。
・総連の変質を許さず、総連の伝統を継承する。

・CMC 山下君、団交に関連会社組合員として初めて参加した。JR総連による無理難題がされる中での組織拡大。職場で働く人と手を取り合って闘うことなしに組織拡大はない。

①OBの小黑文書・南波メールへの本部見解、本部討議資料を読み込んでもらい、総連の統制委員会についての本部の考えをよく知ってほしい。

②討議資料にJS労の仲間の結成時の判断、本部の判断も載せてある。総連も共に歩くだった。しかしその後JS労を作らせないため指令を出せと言われたが断り、要請を出した。要請は結成を認めないではない。議論を継続するというのが主旨。

③南波メールを見てがっかりした。議論していこうというのに（怪文書の）内容に賛同する側で拡散された。参加辞退してもらった。統制委員会はなぜJS労を否定するのか。JS労は東海労の組織展望を拓くものだ。

④怪文書では除名でタガが外れてひがし労と一緒にすると揶揄している。JR東海労の方針を否定する内容だ。大会方針を否定して本部を突き上げろという見解も認められない。なぜ拡散しているのか。JS労、淵上を支えないということが文書・メールではっきりした。話合いや事実確認を拒否した。足を引っ張るのはやめてもらいたい。

OB会
尾崎会長



・意見の違いを組織混乱とするのはどうか。組織を壊すと思うか。自分は2人を信じている。

・本部への要請書は、地本と議論して継続議論となった。それなのに傍聴認められないというのは行き過ぎ。



名古屋地本
御辺書記長



**JS労
西副委員長**

- ・ 出向して契約社員の低賃金・福利厚生のひどさ知った。交流を深め労組結成を決断した。
- ・ J S 労は組織破壊団体ではない。労働委員会から承認され、着々と組織拡大している。団交を十回開催。春闘で手当改善勝ち取った。



代議員の発言

車両所分会

- ・ 統制委員会設置理由は疑問。本部は答えている。無理なことを指示している。三者の話し合いをなぜ拒否したのか。制裁ありきをゆるさず闘う。
- ・ 怪文書が拡散されている。組織混乱をゆるさない。
- ・ 岸田は改憲に意欲。平和を守る闘いを。

プライム会議

- 出向先との団交で多くの改善。賃金未払い・過払いが発生している。
- ・ 統制委員会はどうしてこんな確認となるのか？何のためなのか？組織混乱を招くのではなく議論してのりこえていく。

地区分会

- ・ 新横浜第二の勤務が変更。水野さんの早期復帰を。
- ・ J R 総連は変わった。J R 東海労を目の敵にしているがほかにやることもある。J R 東労組のために闘ってほしい。
- ・ 話し合いをしない、真実を言えば問題になるのはおかしい。淵上委員長を支持する。
- ・ 意見が違う人と丁寧な議論が必要。

車両所分会

運輸所分会

- ・ 共に分会役員を担った永井さんが最終乗務。お疲れ様でした。
- ・ 組織再編に関連する課題について。
- ・ J R 東海労大会のすべての発言を入れて発言集を作してほしい。
- ・ 先入観で判断するのはよくない。自分も当初は疑問もっていたが関西のホームページを読んでわかった。
- ・ 統制委員会は制裁ありき。裁判のほうが公平な判断を期待できる。これしか手段はない。
- ・ 森下は決議に反対するのなら意見を言ってほしかった。
- ・ J R 東労組は今年 2972 名となってしまった。J R 総連はどこに向かうのか、制裁に何のメリットがあるのか。未来はわれわれが決める。津崎裁判に勝利しよう。

- ・ O B からの文書、小黑・南波一緒に闘ってきた、悪人ではないと思うが複雑な気持ちだ。水面下での拡散ではなく、淵上さんが言ったように表で意見を言うべきだ。
- ・ J R 総連との議論、関西、J S 労と議論して共に闘うべき。

森下書記長と田村執行委員が退任 お疲れ様でした



各部答弁・総括答弁

- ・ 各分会大会などで本部討議資料の読み合わせを。
- ・ 統制委員会の制裁出させないことを確認した。
- ・ あらゆる妨害・組織混乱に抗して闘う。本部討議資料を読み込んでほしい。
- ・ 「怪文書」許せない。話し合いを進める。
- ・ J R 東海労の旗を守るため職場から自分たちで闘いを切り拓いていく。